

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線42361  
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和4年7月12日

リコール届出番号	5175	リコール開始日	令和4年7月13日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高祥博	問い合わせ先：新事業推進部事業推進グループ 0537-21-2538	
不具合の部位（部品名）	①保安部品（方向指示器、後退灯、番号灯、尾灯兼制動灯、補助制動灯、後写鏡、車室内後写鏡、後部反射器、前照灯兼方向指示器操作レバー）、外内装部品（ナンバーブラケット、リアパネル、リアバンパー、フロントバンパー、リーンフォース、バックボード、ルーフ、ロアトリム、サイドカバー、リアカバー、カバーピラー、フロントインナーピラー、サイドシル、インナーサイドカバー）、駆動モーター電源供給用の電気配線、ブレーキパイプ ②変速機の主軸オイルシール ③アクセルリターンズプリング		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①公道走行用に装着した保安部品や内外装部品等において、当該部品や取付け部の評価が足りず、灯火器類の不灯や部品の脱落、または破損等により、それぞれの機能が損失して、最悪の場合、保安基準に適合しないおそれがある。 ②変速機の主軸オイルシールにおいて、気密性能が不十分なため、変速機内部の潤滑油を密封できないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該オイルシールから潤滑油が滲みだし、路面に滴下するおそれがある。 ③アクセルペダルを戻すためのアクセルリターンズプリングの強度が不足している。そのため、そのまま使用を続けると、当該スプリングが折損し、最悪の場合、アクセルペダルが戻りきらない他、手動運転時に、パーキングブレーキが作動しなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、灯火器や保安部品等に応じて、緩み、破損などによる機能損失防止対策を施す。 ②全車両、変速機の主軸オイルシールを対策品に交換する。 ③全車両、アクセルリターンズプリングを対策品に交換する。		
不具合件数	①3件②1件③0件	事故の有無	なし
発見の動機	①②市場からの情報による。 ③社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメール及び電話で連絡する。 ・自動車特定整備事業者等：使用者を把握しており、周知のための措置は行わない。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
組立	組立	「APP」	国[01] 14529～国[01] 150035 令和2年10月22日～令和3年2月15日	2台	①②③
組立	組立	「AR-04」	国[01] 076810～国[01] 163308 平成27年8月28日～令和4年3月1日	43台	①②③

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
組立	組立	「AR-05」	国[01] 108614～国[01] 163227 平成29年7月26日～令和3年12月6日	10台	①②③
組立	組立	「AR-07」	国[01] 108615～国[01] 163244 平成29年7月26日～令和3年12月28日	71台	①②③
組立	組立	「YG-M」	国[01] 108611～国[01] 139044 平成29年7月26日～令和2年2月19日	9台	①②③
組立	組立	「YG-ML」	国[01] 114165～国[01] 145535 平成30年2月23日～令和2年10月27日	18台	①②③
組立	組立	「YG-ML+」	国[01] 114164 平成30年2月23日	1台	①②③
	(計1型式)	(計7車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成27年8月28日～令和4年3月1日	(計154台)	

(備考) リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。

①については、車両により改善措置の対象となる部品が異なります。